

賛美歌誕生秘話 「山路(やまじ)こえて」

愛媛県松山市と宇和島市の間には交通の難所として知られる山間部があります。今でこそ鉄道や自動車道が通っていますが、昔は険しい山道を歩いて、いくつもの峠を越えなければなりません。時間とエネルギーを要し、事故や遭難などの危険も伴うことでした。

1903年(明治36年)2月、その峠道を一人の人が帰路を急いでいました。彼の名は、西村清雄(すがお)。宇和島で伝道するアメリカ人宣教師の応援を終えた帰りでした。法華津(ほけつ)峠を越え、鳥坂(とさか)峠に差しかかる頃にはすっかり陽も落ち、暗い夜道を梢から漏れる星灯りを頼りに道を辿らなければなりません。心に何とも言えない不安を覚えた彼の脳裏に蘇ってきたのは、知人から教えてもらったアメリカの賛美歌「ゴールデン・ヒル(Golden Hill)」でした。

彼はこのメロディーに合わせて、今の心境と道すがらの情景とを一句一句歌詞にして当てはめていきました。歌詞を口ずさみながら、彼は心に神様の守りを信じる信仰が再び溢れるのを覚え、平安が広がっていくのを感じたのです。こうして、賛美歌「山路こえて」が生まれ、時を超えて人々に親しまれ続けています。

私たちの人生も、山路のように思えるときがあります。険しく暗い道を一人で歩いていかなければならないときがあります。しかし、どんな旅路でも、神様は私たちを守り、共に歩いてくださいます。

1. 山路こえて ひとりゆけど
主の手にすがれる 身は安けれ
2. 松の嵐 谷のながれ
みつかいの歌も かくやありなん
3. 峯の雪と 心きよく
雲なきみ空と 胸は澄みぬ
4. 道けわしく ゆくて遠し
志す方に いつか着くらん
5. されども主よ われ祈らじ
旅路の終わりの 近かれとは
6. 日も暮れなば 石の枕
仮寝の夢にも み国しのぼん



新規まき直し

人生は出会いで決まると言われます。良き友、良き師、良き伴侶との出会いは、私たちの人生に大きな影響を及ぼします。

様々な出会いの中で、イエス・キリストとの出会いは、私たちに決定的な影響をもたらします。聖書に、生まれながら足の不自由な男の人が、キリストと出会って全く変えられたお話が出てきます。彼は毎日、エルサレムの“美しの門”と呼ばれる門のそばに座って、物乞いをしながらその日その日を食いつないでいました。彼は、初めは自分の境遇を嘆いたことでしょう。それがいつしか諦め、“自分の人生、しよせんこんなもの…”と開き直った生き方になっていたことでしょう。喜びも希望も平安もない、むなしい歩みでした。

その彼が、キリストの弟子ペテロとヨハネに出会ったのです。ペテロは、物乞いの手を差し出す彼に、こう言いました。「金銀は私にはない。しかし、私にあるものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」(使徒の働き3章6節)そうやって、彼を立ち上がらせました。するとな

んと、彼の足は強くなり、立ち上がり、歩き出したばかりか、飛んだり跳ねたりしながら、神様を賛美し始めたではありませんか。

それまでは、不満と愚痴と人を裁く言葉しか出てこなかった彼の口から、神様をほめたたえる賛美があふれてきたのです。まさに新規まき直しです。彼に全く新しい人生が始まりました。

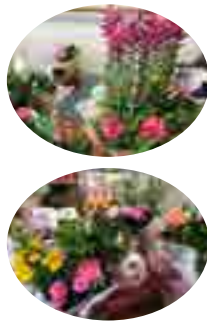
この人は私たちの姿です。私たちは、神様の前に生まれながらの罪人です。罪をもったままでは、本当の満足がなく、喜びも平安もありません。キリストは、そのような私たちのために身代わりに十字架にかかられました。このキリストを信じれば、私たちは罪が赦され、魂に平安と満足が与えられ、生き方が変わります。

あなたは、自分の内に潜む罪に悩んでおられません。情けない自分が嫌になっておられません。自分を変えたいと思っておられません。ぜひイエス様のもとへおいでください。あなたの人生は新しくなります。キリストによる新規まき直しを経験してください。

教会のひとこま

母の日フラワーバスケット

5月12日は母の日でした。すっかり恒例になった婦人会お手製のフラワーバスケットが、今年も教会の玄関に並べられました。皆さん、きれいな花をじっくり眺めながら、お母さんへの日頃の感謝を込めて買っていかれました。心温まる母の日の光景でした。



幼子祝福式

今年1月に生まれたばかりの幼子が、神様の前で祝福を受けました。牧師先生の腕の中で、ご両親と一緒に祈りがささげられました。神様にも周りの人にも愛されて、これから大きく、元気に育っていくようにと心から願います。



ケアプラン
デイサービス
オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」
☎:0797-73-6055

<http://hp.kaipoke.biz/gev/>

教会ホームページのバナーからもアクセスできます。

お気軽にお問い合わせ、
ご相談ください。

「デイサービス オリーブの実」
☎:0797-73-6077

主日礼拝 日曜日 午前10:30~11:45

子どもチャペル 日曜日 午後1:00~2:00

※幼児から中高生対象

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

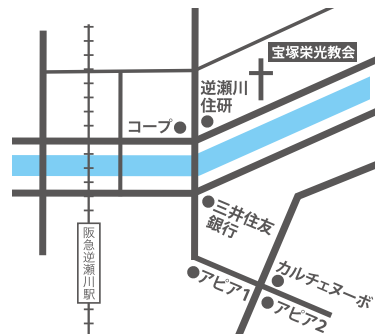
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <http://www.takara-eikou.com>

希望のダイヤル
毎週更新、24時間つながります。
0797-77-3746

ポッドキャスト
でも配信!
ホームページから
利用できます。

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40





「初夏の花ーナツツバキー」

ナツツバキと初めて出会ったのは 初夏の頃
まぶしい日射しを避けようと かけこんだ木が ナツツバキだった
すらりと伸びた 幹と枝を 見上げると
まるい形の蕾が 光っていた
枝が横に張っていないので 願ったようには 陽をさえぎらない
そんな たくましさの感じられない 上品な木だった

6月から7月の初旬
ナツツバキが 白い すき透るような花を咲かせる
元は 山地に自生していたが
庭木として 栽培されるようになった
公園木や街路樹として 植えられている
姿の美しい木である

花は 一日限りの花である
蕾をたくさんつけるが 朝のうちに 花開き
夕方になると ぽとりと落下する
夏に咲く椿のようだと 名前を夏椿と言う
はかなさを教えられる
美しい花なので 心に残る

何事にも 時があり
天の下の出来事にはすべて
定められた時がある

コヘレト3章(聖書)